

私の留学体験記

広島県立安芸府中高等学校 2年 浅海 虹羽(あさうみ にじは)

留学期間 令和5年2月25日 ~ 令和5年3月10日 (14日間)

留学先 Maryknoll School (ハワイ (都市名)、アメリカ (国・地域名))

約7時間のフライト終え空港に着くと、ホストファミリーの方が出迎えてくれました。アメリカでは16歳から車を運転ができ、私のバディの子が家まで運転をしてくれました。家について後部屋の紹介をしてくれ、バディの子が夕食を作ってくれました。家族でハリーポッターを見たりお互いのことを話したりし緊張が解けました。しかし、ホストマザーが話してくれた内容が分からなく自分の勉強不足を改めて感じました。

学校生活では、主に日本語クラスに参加し、ハワイの生徒と一緒に受けお互いわからないことを教えあったり、ハワイの文化を学んだりしました。メリノール高校に初めて行ったとき生徒が髪を染めていたりスマホを使っていたりと自分が好きなことをしていてとてもびっくりしました。日本では協調性を大切にしていますがハワイでは自由さを重視しているのだと思いました。他にも、ペアの子の授業について行ったりハワイ語のクラス、中国語のクラスに参加したりしそれぞれの語学を学びハワイ語、中国語で自己紹介をしたりしました。また、佐々木禎子さんの紙芝居や日本についてのプレゼンテーションをしました。少しでも平和の大切さ、日本の魅力を知ってもらうために読み方を工夫したりクイズ形式にしたり印象に残るプレゼンテーションにしました。そして、私が一番学校に通った中で印象に残ったのがフィールドトリップで行ったアリゾナ記念館です。真珠湾攻撃で沈没した船から現在でもオイルが出続けているのを実際に自分の目で見て現地に行かないと分からないことがたくさん学べました。今まではあまり日本以外の歴史に興味を持てていなかったのが今回の学んだことからハワイの歴史をさらに興味を持つことができ、もっとハワイや世界中の歴史を学んでいきたいと思いました。また、映画でより詳しく歴史を学びました。

休日は、ワイキキビーチで泳いだりショッピングをしたりし、観光を楽しみました。ハワイの海は日本よりも透き通っていてとてもきれいで温かったです。また、ホストファミリーがハワイで有名な食べ物などをたくさん教えてくれ夕食などで料理をふるまってくれました。ハワイの食べ物で一番おいしかったのはロコモコでした。日本とは味付けが違い、ソースがとてもおいしかったです。ホノルルは観光地ということもありショッピングをしていると日本人の方が多くいたり、日本語で「日本大好きだよ」と言ってくれたりして、とてもうれしい気持ちになりました。

今回この留学を通して私が学んだことは、文化の違いと人の優しさです。日本では周りに合わせる大切だと思っていたのですが、ハワイに行ってから自分の意見を大切にすることが大切だと思いました。また、自分の言いたいことをしっかり言うことの大切さも学びました。何も言わないと相手に伝わらず相手のことを困らせてしまうことが分かり、積極的に自分の意見を言おうと思いました。ハワイに行き、言語の壁がありなかなか伝わらないことも多かったのですが、話を最後まで聞いてくれてこっちの単語を使ったほうがいいのかなどたくさんのアドバイスをもらったり、お会計の時コインを出すと一つ一つのコインの種類を教えてください、改めて人の優しさに触れました。また、お別れするときには、来てくれてありがとうとお土産をくださり、とても充実した2週間でした。交換留学なので6月ハワイの子が来た時には少しでもお返しができるようにたくさんおもてなししたいと思います。